

週報

こひつじ

第41巻 38号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

ナインの女

それから間もなく、イエスはナインという町に行かれた。弟子たちと大ぜいの人の群れがいつしよに行った。イエスが町の門に近づかれると、やもめとなつた母親のひとり息子が、死んでかづぎ出されたところであつた。町の人たちが大ぜいその母親につき添つていた。主はその母親を見てかわいそうに思い、「泣かなくてもよい。」

と言われた。そして近寄つて棺に手をかけられると、かついでいた人たちが立ち止まつたので、

「青年よ。あなたに言う、起きなさい。」

と言われた。すると、その死人が起き上がつて、ものを言い始めたので、イエスは彼を母親に返された。(ルカ 七の一一―一五)

その一 なぜこんなにも多くの悲しみがあるのか

ある日、イエスはナインという 町に入ろうとなさつていた。同じ門を町から出るもう一つの集

その頃のユダヤの町はみな、高 やもめとなつた母親のたつたひい堀で囲まれていた。町に入るに とりの息子が死に、その子を葬るは門をくぐらなければならない。 ために町の外に出ようとしている

弟子たちと、そのほか大勢の人 葬儀参列者の集団だつた。

がイエスのあとについてきていた。 こうして二つの集団がすれ違つて、そして門に入ろうとされたとき、

そのとき、イエスは悲しみに沈う。

む母親を見て、激しく心を動かされた。そして声をかけ、言われた。

「泣かなくてもよい。」

母親は突然のその言葉に驚いた。今度は棺の中にいるその息子に向かつて言われた。

「青年よ。あなたに言う、起きなさい。」

すると、彼は生き返つた。こうしてイエスはその息子を母親に返された。

以上が、今読んだ聖書の箇所の内容だ。この箇所からいくつかのことを考えてみたい。

第一に思うのは、人生には、なんと多くの悲しみがあるのかということだ。

この女性は、やもめであつたとする。すでに夫を早くに亡くしている。残されたひとりの息子を苦勞しながら育てたに違いない。

ところが彼女の生きがいだつたその息子が、まだ若いのに亡くなつたのだ。

夫を失い、子を失う。その悲しみはどんなに大きかったことだろう。

残念だけれど、このような悲しみは今も、私たちのまわりにある。

そういう悲しみの中にいる人を見て、私たちは思う。それはなぜなのかと。

日航機の事故から今年はちょうど四〇年だそう。あの日、どれほどの悲しみが搭乗者たちの家族を襲つたことだろう。

またあの悲惨な戦争が終わつて八〇年というので、最近戦争に関するドキュメンタリーがいくつも放映されている。

戦争が終わつた昭和二〇年は、私の生まれた年だ。

戦争終結までの半年間で起こつた東京大空襲、沖縄戦、広島・長崎の原爆投下によって失われた民間人の生命は六〇万人を超えると

言われている。日本歴史上かつてないほどの人数だそう。その短い間に、夫や妻、子を失つた無数の人びとが悲しみに沈んだのである。

それは私たちにとっては八〇年前の出来事だが、ウクライナの人たちにとっては今もそれは現実だ。

平和と思われる今も突然襲ってくる悲しみはある。事故がある。災害がある。重い病気がある。

横田さん一家も普通の家庭だった。ところがある日、突然、まだ中学生だった長女のめぐみさんがいなくなった。

母親の早紀江さんは気が狂ったように新潟の海岸を捜し歩いた。しかし見つからない。

まもなく夫の転勤の時がやってきた。その地を離れるのは、母親の早紀江さんにとってどんなにづらいことだったろう。

そのめぐみさんが北朝鮮に拉致されていたという事実がわかったのは、それから二〇年後のことだった。それを知らされたときの衝撃もまた大きかったに違いない。

相手が普通の国でないために、その国に娘がいるというのに会うことができない。早紀江さんの苦しみは今も続いている。

いったいなぜ、そんなことが自分の家庭に起こらなければならなかったのか。自分が何をしたらいいのか。その問いは、長く早紀江さんの心を苦しめた。

が、のちに友人に誘われ教会にゆき、早紀江さんはクリスチャンになる。彼女は、ヨブ記を読んで慰められたという。

内村鑑三の人生にも多くの悲しみがあった。彼の処女作『キリスト信徒のなぐさめ』は、その悲しみの意味を問うものだった。その第一章は「愛する者を失せし時」である。

彼もまた妻を失い、のちには子も失うという悲痛な体験をするのである。

今日の礼拝

○礼拝は午前一〇時半から。
○教会学校は午前一〇時半から。
○説教は米村牧師。

○礼拝後、昼食交わり会。

駐車場の清掃

矢島宅駐車場の草刈りが行われ、刈り取られた草が数力所に集められています。集めてごみ収集袋(赤い袋)に入れたと思います。今日の礼拝後、皆さんでやっていた

できれば早く終わります。手袋もごみ収集袋も準備されています。ご協力いただければ感謝です。

大津少年少女合唱団の定期演奏会

定期演奏会

大津町文化ホールで今日の午後二時開演です。指導者は大津教会の会員である吉岡裕美さんです。結成以来三〇数年になります。最初は教会に来る子どもたちを中心にした合唱団でしたが、今では団員は地域の子どもたちがほとんどです。でも練習は毎週二回、教会でやっています。

次週(二〇月五日)の礼拝

○礼拝、教会学校はともに午前一〇時半から。
○説教は坂田壮一さん。

先週の礼拝報告

○司会は西岡潤也さん。
○説教は長岡舞子さん。舞子さんは精神科の医師ですが、大学に

勤め、学生たちの精神的ケアにあたっています。

二列王記五章に登場するナアマン將軍は重い皮膚病でしたが、ヨルダン川の水に七回浸ることによっていやされます。単純な行動こそは神の力を体験する道だと語ってくださいました。学生たちの悩みも、多くは目の前の簡単な義務を怠ることからやってくるのだそうです。考えさせられますね。

○礼拝参加者は八一名(男三二、女四九)、それに子どもが五名、合わせて八六名でした。

牧師身辺

幸子さんのアメリカ出発は一〇月四日です。

「一〇日もいらつしやらなければ、食事はどうなさるんですか」と親切に心配してくださる方が

あります。そこでお答えしました。「かつて孫の世話で数ヶ月も妻は留守をしたことがあります。だから、一〇日ぐらいはなんでもありません。たださびしくはあるでしょうが」と。